

産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計画 の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
宮崎県	45	20	25	146%	12	無	12	<p>評価対象産地計画全25件のうち、目標を達成した計画は13地区、未達成となった計画は12地区であり、約半数が未達成となっている。</p> <p>未達成の主な要因は、9月～10月に来襲した台風や高温等の自然環境の変化による生育不良や作付け断念によるものが多く、また、労働力不足による人件費の増大や労働力不足によるものも要因とされている。</p> <p>台風等の自然災害については、気象の状況を的確に把握し、事前対策について情報提供及び技術指導を行うとともに、事後においては、樹勢回復に向け早急な現地調査に基づき技術指導を関係機関連携して行う。</p> <p>加えて、労働力不足については、現在の労働状況の把握・分析に努め、より効率的な作業体系の構築を図ることにより、コストの削減・労働力不足の解消に取り組んでいく。</p> <p>これらの支援を継続的に実施し、未達成となった13地区について成果目標の達成を目指す。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、146%であり、目標は達成されている。</p> <p>このため、農政局から県への改善指導は行わない。</p> <p>なお、宮崎県が事業実施主体への改善指導を必要とした地区（達成率90%未満）は以下の12地区である。</p> <p><参考：成果目標未達成地区の概要></p> <p>【水稲】2地区 ・「販売額の10%以上の向上」を目標にコンバイン等のリース導入を行った1地区について、台風の影響により登熟不良が発生し、種子合格率が計画を下回ったことから、販売額は低下し、成果目標は未達成となった。 また、「販売額の10%以上の向上」を目標に農産物処理加工施設の整備を行った1地区について、精米設備の導入により品質向上を図ったが、販売単価の向上に反映出来ず、成果目標は未達成となった。</p> <p>【野菜】5地区 ・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、野菜（中型カラーピーマン）のハウス資材の導入や環境制御装置等のリース導入を行った1地区について、黒枯病や斑点病等の影響で品質が低下し販売単価が下がったことにより、成果目標は未達成となった。 ・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、野菜（にら、千切り大根、ゴーヤー、ズッキーニ）のハウス資材の導入、環境制御装置等のリース導入及び集出荷貯蔵施設の整備を行った1地区について、平成30年台風24号、25号の影響で生産量が大きく減少したことにより、成果目標は未達成となった。 ・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、大根の収穫機等のリース導入を行った2地区について、平成30年台風24号、25号の影響で生産量が大きく減少したことにより、成果目標は未達成となった。 ・「販売金額の10%以上の増加」を目標に、ほうれんそうのハウス資材の導入を行った1地区について、夏場（7～9月）の高温の影響で年3～4作中2作で生育不良が発生し、生産量が大きく減少したことにより、成果目標は未達成となった。</p>

